


## 教室内の小さな段差に気付き、転倒を未然に防ぐ教室環境の工夫 「『ここ段差です！』テープ」

子どもについて	所属・学年	小学校・特別支援学級（病弱・身体虚弱）・4 学年	
	障がい名等	病弱	
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	病気があり、徐々に筋力が低下している。フラットなスペースであれば自力で歩くことができるが、小さな段差でもつまずいてしまうことがある。転倒したところから自分で起き上がることは難しく、転倒しないような環境づくりが必要である。	
授業について <small>（教材・教具を使用した授業や指導場面）</small>	教科名等	その他	
	単元(題材)名	その他	
	単元(題材)の概要		
教材・教具 支援機器について	教材・教具 ・支援機器	「ここ段差です！」 テープ	
	ねらい・工夫点	<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教室には小さな段差がたくさんあり、その段差を視覚化することで、対象児童が自ら気を付けて生活できるようにしようとした。このような環境づくりをすることで転倒を未然に防ぐとともに、普段の生活でも段差に気を付けて生活できるようになってほしいと考えた。</li> </ul> <p>&lt;工夫点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 段差の解消には床の張替えなどが考えられるが、多くのコストと時間がかかり実現は簡単ではない。すぐにできる方法を検討することが重要であると考えた。配慮については保護者とも合意形成を図り、合理的配慮の一環として実施した。</li> <li>○ 教室環境の整備については、引き続き学校の設置者との交渉も並行して行っていく。</li> </ul>	
	材料・作成方法等	○ ビニールテープに油性マジックで「ここ段差です！」と書く。	
子どもの変容や評価	テープを意識することで教室における転倒は大きく減少した。周囲の児童も段差に目を向け、対象児に対して助言をする姿も見られた。また、本学級に遊びに来る児童にもテープの意味を説明することで、対象児の理解にもつながっている。		